

# 376. 數學雜話

松村宗治 (台北大)

(I) 辻氏ノ日本數學物理學會記事第四卷、第百九十四頁ノ  
*On Imaginary Elements in Geo.* ナル論文  
 = 於ケルト同様 =  $a + \varepsilon b$  = ツイテモ考察スル、但シ  $\varepsilon$  フ  
 $i$  ノ代リ = 考ヘ同ツ役目ヲ演ズルモノトスレバ如何カト思  
 ヲツテイル、茲 =  $a + \varepsilon b$  ハ雙對的複素数デアール。

(II) *Messenger of Math.* vol. 46 (1916-17) p.157  
 = 於ケル Burnside, 幾何学的 = 考察カレタ論文ヲバ  
 $\log N!$  ノ代リ =  $\Gamma$  函数 = ツイテ考究シテモ同様 = 進  
 行シ得ルト思フ。

(III) 一般 = 平面曲線 = テハスデ = 知ラレル如ク

$$(1) \rho = r \frac{dr}{dp}$$

が成立スル、 $\rho$  ハ曲率半径、 $r$  ハ原点ヨリ考フル点マデ  
 ノ動徑、 $p$  ハ其ノ点 = 於ケル曲線ヘノ切線へ原点カラ垂直  
 距離デアール。

所ガヨク

$$(2) \tan \varphi = \frac{1}{3} \frac{d\rho}{dS}$$

が成立スル。

$\rho$  ハ曲線上ノ考フル点 = 於ケル法線ト擬似法線トノ間

ノ角デアアル、 $S$ ハ曲線弧ノ長サデアアル。

(1), (2)ヨリ

$$(3) \tan \varphi = \frac{1}{3} \left\{ \left( \frac{dr}{dp} \right)^2 + r \frac{d^2 r}{dp^2} \right\} \frac{dp}{ds}$$

ヲ得。 (3)ハ偏差  $\varphi$  ヲ與フル別テ公式デアアル。

尚公式 (1)ノ利用法ハ下ノ通りデアアル。

$$(4) \rho = \frac{\bar{\rho}(\varphi)}{\bar{\rho}(\mu)} = \frac{d\{\bar{r}^2(\varphi)\}}{dp} / \frac{d\{\bar{r}^2(\mu)\}}{dq},$$

茲ニ  $\rho$ ハ相對的曲率半径デアアル。

(4)カラ相對的曲率半径カ變化スル場所ニ向ツテハ

$$\frac{d\{\bar{r}^2(\varphi)\}}{dp} = 0$$

デアアル。

亦  $R$ -Scheitelニ向ツテハ

$$(5) \frac{d\{\bar{r}^2(\varphi)\}}{dp} : \frac{d\{\bar{r}^2(\mu)\}}{dq} = \text{const.}$$

デアアル、コノニ  $\bar{r}$ ハ初等的動徑デアアル。

尚 (4)ヲ公式

$$I(\varphi) = \oint r \rho d\sigma, \quad \frac{d\bar{u}}{d\bar{v}} = \rho^{\frac{2}{3}},$$

$$\frac{ds}{d\sigma} = \rho, \quad S = \oint \rho d\sigma$$

等ヲ代入シテ此等ヲ別ノ型デアラハシ得。

(IV) 余ハサキ = 相對微分幾何 = 於イテ動徑ヲ定義シタ  
 カラ、コレヨリ容易 = 日本中等教育學會誌第十五卷  
 第百三十一頁 = 於ケル拙文ヲ相對的 = 容易 = 一般化  
 スルコトが出来ル。

其ノ他コノ種ノ問題ハ容易 = 相對的 = モ考ヘラレルコ  
 ト明デテイル。

(V)  $\alpha, \beta$  ヲ平面上ノ円トセバ

$$(1) x\alpha + y\beta$$

ハ円系ヲ表ハス、 $x, y = \alpha, \beta$  ハ scalar デアル。(1)  
 ナル円系ノ一ツト  $d$  ナル円トノ共通切線ノ長サヲ成ルベ  
 シ短カクスルマウ = (1) ナル円系ノ一ツヲ求ムル平面幾何  
 ノ問題ヲ考ヘルナラバ

$$(2) x\alpha + y\beta - d$$

ヲ最小 = スルマウ =  $x, y$  ヲ求メルトヨイ。

所ガコレハ  $\alpha, \beta, d$  ナル三ツノ vector = ツイ  
 テ考ヘルト原点ヲ通ルニツノ vector  $\alpha, \beta$  = 平行  
 ナル一ツノ面 A 上ノ点へ  $d$  ナル原点ヲ通ル vector  
 ノ端点ヨリ引イタ線分ノ長サが最小 = スルトイテ問題ト  
 同一 = ナルカラ  $d$  ノ端点ヨリ A = 下シタ垂線ガ其ノ解ヲ  
 與ヘネバナラヌコト = ヨリ次ノ關係ヲ得。

$$(x\alpha + y\beta - d) \alpha = 0$$

即チ

$$(3) \alpha d = x\alpha^2 + y\alpha\beta$$

同様 = シテ

$$(4) \quad \mathcal{L} \mathcal{L} = x \alpha \mathcal{L} + y \mathcal{L}^2$$

(3), (4) ヨリ  $x, y$  ヲ求メルトヨイ。